

大名みえ子です

2015.8.21 No.293
東海村村松 2401-2
電話・fax 029-284-0761



熱気あふれるまつりでした

第37回東海まつり開かれる

8月8日・9日と、第37回東海まつりが行われました。時間をかけて準備をされてきた実行委員会の皆さまに感謝を申し上げます。花火大会は、風が少し気になりましたが、夜空に広がる美しい絵模様感動をいただきました。また、今年は本当に暑い夏で、歩行者天国で演目に参加された村民の皆さまも大変だったと思いますが、みなさん、暑さを吹き飛ばしてのすばらしい発表でした。

学校給食・保育所給食の調理部門民間委託は中止に!

おみこしを担いだ小学生、東海音頭を踊った中学生、この子達の学校給食や、保育所の給食が一部民間委託にされる計画が示されました。完全直営の誇るべき本村の給食から公的責任を後退させてはなりません。あたたかい村政、育ち盛りの子どもに優しい村政をぜひ続けてほしい。教育や福祉分野の食に関することを行革の対象にすべきではありません。民間委託計画は中止に!



北関東4県の日本共産党が原電を視察。広域避難計画について懇談

北関東4県（群馬・埼玉・栃木・茨城）の日本共産党は8月11日、「東海第二原発を知ろう」と、合同での視察を計画し、その後場所を変えて党独自に避難計画に関する懇談を行いました。これは、茨城県が東海第二原発の過酷事故を想定して広域避難計画を策定し、関東近県への避難の受け入れ交渉に入っていることを受けてのものです。原電では、東海第二原発の安全対策の状況について、説明を伺い、電源車の配備状況など現場を見させていただきました。



真崎コミセンで懇談。
梅村さえ子衆議院議員も



原電東海事務所にて。
島森所長があいさつ

また、日本で初めての東海発電所の解体廃棄物L3の埋設計画の説明を伺い、埋設予定地を見学させていただきました。他県からの参加者は、初めて聞くことや見るものに驚きながら、「広域避難計画はどうあるべきか、地元に戻って協議をしたい」と感想を述べていました。

戦後70年の8月15日 終戦記念日

8月15日、戦後70年目の終戦記念日。「安倍政権が強行しようとしている『戦争できる国づくり』を中止させるため力を合わせましょう。9条を守ってこれまでどおり信頼される日本にしましょう」と、村内16箇所で訴えました。

